

取組名称	「木になる紙」の地産地消によるネイチャーポジティブ～地域振興に貢献～			団体設立後の経過年数	市町村新設合併後 20年
応募取組主体名称	佐賀市役所	活動地域	・出発点：佐賀市 ・現在：全国展開中	応募取組の活動年数	17年目
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する 実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動平衡賞				



取組の要旨
佐賀市は、山々の手入れが行き届かないため森林荒廃の原因となっている「間伐材」を商品開発に繋げ、有効活用する九州発の官民協働プロジェクト「木になる紙」（コピー用紙他）のモデル都市として、2009年度から公共調達で活用する取組を開始しました。現在は地元産材活用の「佐賀の森の木になる紙」の地産地消へと深化させ、さらに調達実績分のJ-クレジットを無償で取得して市のCO2総排出量と相殺し、調達財源には森林環境譲与税の充当させています。
実績の要旨
「木になる紙」の取組16年間の軌跡として、森林整備促進・環境保護・林業経済支援・脱炭素等の地域振興に関わる各種の量的実績及び質的成果が得られており、多面的で効率的な行政運営を推進しています。市町村合併後の山から海までの市域全体の一体感の醸成と中山間地域振興を目的として、複合的な成果を目標に掲げ、現在のSDGsや地域循環共生圏が提唱される以前の2009年度から、公共調達を切り口に取組を開始して現在に至っています。

取組評価の要旨	環境への貢献	九州（佐賀市）産間伐材を積極的に活用したことで、健全な森林面積や森林のCO2吸収量などが増加しています。
	社会・経済への貢献	買い支えが「木育」に繋がり、森林所有者へ売上金の一部を支給する「還元金」が林業経済支援に繋がっています。
	地域資源の活用	佐賀を含む九州間伐材での取組み開始後、現在は市産材（佐賀の森の木になる紙）で紙の地産地消を高めています。
	普及・汎用性	佐賀発の取組みモデルが県内・県外（東日本）へ伝承普及し、今では全国の半数超の都府県にまで拡大しています。
	革新・ユニーク性	製品売上の一部を森林所有者へ「還元金」として支給。取得した製品付加のJ-クレジットを市のCO2排出量と相殺。
	継続性	生産者から消費者までの「共感力」をより高め、森林環境譲与税活用による経済的・効率的な調達に努めています。

展望の要旨	準備中の市産森林吸収系クレジットを「木になる紙」に付して県外で販売するなど、全国展開の強化につなげたい。
-------	--